2013.11.13

科学技術振興機構　中国総合研究交流センター　第 66 回 CRCC 研究会

シンポジウム「中国政治の光と影―習近平体制の課題と展望」

「リコノミクス」について

日中産学官交流機構特別研究員

田中　　修

Ⅰ．李克強新総理内外記者会見（3 月 17 日）

3 月 17 日、全人代閉幕直後に、新総理に選出された李克強が初の内外記者会見を行った。本稿では、このうち経済関連部分の概要を紹介する。

１．政府機構改革

およそ事を成そうとすれば、全ては理想と現実の間で可能な選択を行わなければならない。**今回の改革案の核心は政府機能の転換**[1]であり、当然、政府の簡素化・権限の解放でもある。もし機構改革が政府内部の権力の配分最適化だとすれば、**機能の転換は政府と市場、社会との関係の明確化・調整である。即ち、①市場ができるものは、多くを市場に解放するということであり、②社会がよくできるのであれば、社会に引き渡すということであり、③政府は、管理しなければならない事をしっかり管理するということである。**

機構改革は容易ではなく、**機能の転換は更に困難である**。それは一層深刻であるからだ。私はよく地方に視察に行った際、「何か始めよう創業しようとすると、数十の公印が必要となる」という恨み言を聞く。大衆の怒りは大きい。これは効率に影響を与えるのみならず、容易に腐敗あるいはレントシーキングを生み出し、政府のイメージを損なうことになる。そこで、行政審査許認可制度から着手して政府機能を転換しなければならない。**現在国務院各部門の行政審査許認可事項は 1700 余りあるが、今期の政府は 3 分の 1 以上削減する決意である**[2]。

政府の誤った手を市場の手に置き換えることは、権限の削減であり、自己革命であり、痛みを伴い、はなはだしきは腕をもぎとられた感覚となるが、これは発展のために必要なことであり、人民の願望である。我々は壮士が腕を断つ決意で、言ったことは必ず実行・実現し、表では自由にやらせるとしながら裏ではそうさせないとしたり、困難を避け易きに就いてはならず、看板のかけかえのような駆け引きをしてはならない。

1　ゴチックは筆者。

2　11 月 1 日に開催された「地方政府機能転換・機構改革テレビ電話会議」において、李克強総理はすでに 334 項目の行政審査・許認可事項が取消・委譲されたとしている。

２．施政目標

主要な問題について言えば、

（1）なおも経済を引き続き発展させる

将来の中国経済の環境は、依然として峻厳・複雑であり、我々は平安なときに危機を慮り、変化に動ずることなく、経済の持続的成長を維持し、インフレを防止し、潜在リスクをコントロールすることにより、**中国経済に大きな波動を発生させないようにしなければならない**。

2020 年の目標実現に努力しなければならない。これには**年平均 7%成長が必要だが、これは容易ではない**。しかし、我々には有利な条件と巨大な内需がある。**カギは、経済の転換を推進し、改革のボーナス・内需の潜在力・イノベーションの活力を重ね合わせ、新たな動力を形成し、かつ、質と効率、雇用と所得、環境保護と資源節約を新たな高みに引き上げ、中国経済のグレードアップ版を作り上げることにある**。

（2）不断に民生を改善する

即ち、都市・農村の住民、とりわけ**低所得者の所得向上に力を入れ、中所得者層を引き続き拡大しなければならない**。

もし政府を民生政府と呼ぶのであれば、基本的な民生を重点的に保障し、**全国民をカバーし基本的な民生を保障するセーフティネットを編み上げなければならない**。これには、**義務教育・医療・年金保険・住宅**等が含まれ、この段階的な充実に努めなければならない。セーフティネットの底が破れないようにし、最低生活保障・大病救済等の制度を通じて、特別困窮者の基本生活にしっかり責任を負わなければならない。これらの人々がもし生存の窮地に陥れば、社会の道徳・心理に容易にダメージを与えることになる。このため、政府は力を尽くして社会のパワーを動員し、**人々の基本的生存権と人格の尊厳を保障しなければならない**。

（3）社会の公正を促進しなければならない

公正は社会の創造的活力の源泉であり、人民の満足度を引き上げる天秤でもある。政府は社会の公正の守護者であるべきである。

我々は、人々が平等な機会を享有するよう努めなければならない。都市出身であろうが農村出身であろうが、どのような家庭の背景があろうが、自身が努力さえすれば、応分のリターンを得ることができるようにしなければならない。どのような富の創造者であれ、国有企業・民間企業・個人事業者を問わず、信義誠実によって公平に競争しさえすれば、応分の収穫を獲得できるようにしなければならない。

この 3 つの問題を解決するには、3 つの任務を実現して、3 つの大きな保障があることが必要である。即ち、

①イノベーション型政府を建設する。

改革開放に依拠して、経済社会に活力を充満させる。

②廉潔な政府を建設する。

政府の公的信用力・執行力・効率を強化する。

③法治政府を建設する。

これが最も根本である。法律を神聖に位置付け、いかなる人がいかなる任務にあったとしても、法律の権限を超えてはならず、我々は法治精神によって現代経済・現代社会・現代政府を建設しなければならない。

この 3 つの任務の実現推進には、苦しい努力を払わなければならない。幸いにも、前任の温家宝総理及び既に離任した同僚たちが良い基礎を打ち固めてくれた。私は、彼らに深い敬意を表する。

３．簡素な政府

我々は簡素な政府により民の信頼を得、人民を幸福にしなければならない。人民によい暮らしをさせ、政府は倹約の日々を送らなければならない。報告によれば、1－2 月期、中央財政収入の伸びはわずか 1.6%であり、これからすれば、将来財政が高成長の収入態勢を維持する可能性はあまりなくなってしまった。しかし、民生支出は恒常的で、減らすことはできず、増やすしかない。つまり、政府の支出を削減する必要がある。

ここで我々は 3 カ条の約束を定める。今期政府において、

①政府のオフィスビル・公会堂・ゲストハウスは、一律に新規建造を認めない。

②財政により雇用される人員は、減らすだけで増やさない。

③公費接待・公費海外出張・公費車購入は、減らすだけで増やさない。

この 3 カ条は、中央政府が率先して実行しなければならず、各レベルで進めなければならない。

４．改革

私が日頃「改革は最大のボーナスである」と言っているのは、**わが国の社会主義市場経済がなお整備プロセスにある中で、改革により更に生産力を解放する巨大な潜在力が存在し、改革のボーナスを全人民に行き渡らせる巨大な余地がある**からである。**改革は行動することに価値があり**、大声で唱えることは、全力を振り絞って実行することには及ばない。我々は市場化改革の方向を堅持しなければならない。重点としては、先に述べた「3 つの任務」を実行することにより、わずかな事が全局に影響を及ぼすような改革を推進できるのである。

経済の転換を推進するには、財政・金融・価格改革のレバレッジ作用の発揮に注意しなければならない。

（1）財政

公開・透明・規範的・完全な財政・予算制度改革を推進しなければならない。これによって、人民は更に有効に財政収支を監督し、支出状況を最適化し、更に多くを民生に傾斜

できるようになるのである。

（2）金融

金融分野では、**金利・為替レートの市場化改革を推進し、様々なレベルの資本市場を発展させ、直接金融のウエイトを高めなければならない**。また、投資家とりわけ中小投資家の合法的な権益を保護しなければならない。

（3）サービス業

我々は開放により転換を推進しなければならず、重点は**サービス業を一層開放する**ことである。当然、商品貿易を含む中国の貿易は、将来数年引き続き成長することになろう。これは世界にとって巨大な機会であり、中国企業にとっても公平な競争の中で企業のレベルを引き上げる良い機会である。

（4）所得分配制度

民生の改善は、所得分配制度改革と不可分である。我々は、都市・農村、地域間という 2 つの最大の格差に面と向かわなければならない。とりわけ 8 **億余りの農民と** 5 **億余りの市民との間の最も多くの人口に関わる都市・農村格差に面と向かい、措置を採用して段階的に格差を縮小しなければならない**。

（5）社会保障

社会保障制度改革を推進しなければならない。**統一的企画のレベルを段階的に引き上げることにより、医療・年金保険の給付・接続を、異なる土地で段階的に進められるようにしなければならない**。これも、労働力の流動に資するものである。

（6）社会の公正

社会公正の改革を推進し、社会の公正を妨げるルールを整理し、正規のルールが裏のルールに打ち勝つようにしなければならない。同時に、**民営資本が順調かつ有効に、金融・エネルギー・鉄道等の分野に参入することを推進し、また社会分野における関連した改革を推進して、社会の縦方向の流動を促進しなければならない**。たとえば、現在大学等では農村学生の比率はかなり少なく、我々は徐々に比率を引き上げ、更に多くの勤勉で学問好きの農村の子供に希望を与えなければならない。

当然、改革は重点を際立たせ、統一的に企画・協調させなければならない。我々は各分野の全面的改革を指針し、中国の特色ある社会主義事業のたゆまぬ前進を推進しなければならない。

改革は深水区に入ったとも、堅塁攻略の時期に入ったとも言ってよい。それは確かに、**固有の利益構造に抵触する**ものだからである。現在、利益に触れることは、往々にして魂に触れることよりも困難である。しかし、深い水を我々は歩いて渡らなければならない。**ほかに選択肢はない**からである。**改革は国家の命運・民族の前途に関わる。改革には、勇気・知恵・粘り強さを必要とする**。これらをわが国民の中から汲み取ることにより、改革は堅塁攻略の歩みを踏み出すことができるのである。

５．都市化

都市化は現代化の必然的趨勢であり、広範な農民の普遍的な願望でもある。都市化は巨大な消費・投資需要を牽引し、更に多くの雇用機会を創造するだけでなく、その直接的作用は、農民を裕福にし、人民を幸福にすることである。

私は農村を視察する際、いつも農民と話をするが、彼らが将来の生活の願望を語るとき、少なからぬ者は「都市の人々と同じような良い生活を送りたい」という簡潔な言葉で表明するのである。現在、中国の都市化の大きな門が農民に開かれた。農民は都市に入り第 2 次・第 3 次産業に従事し、あるいは農村に留まって適度な規模の経営を通じて、いずれにしても所得を増やし豊かになることができる。現在、毎年 1 千万人余りの農民が都市に移転しているが、これは必然的な趨勢である。

我々が強調するニュータイプの都市化とは、人を核心とした都市化である。現在、約 2.6 億人の出稼ぎ農民[3]がいるが、彼らの中で望む者を段階的に都市に融け込まさなければならない。これは長期で複雑なプロセスであり、雇用の支えとサービスの保障がなければならない。

都市化はパイを大きく広げるようなやり方に拠ってはならず、**大・中・小都市が協調的に発展し、東・中・西部地域が土地の事情に合わせて適切な方法を用いて推進しなければならない。また都市病の防止に注意し、高層ビルが林立する一方でバラックが連なるようであってはならない**。今期の政府は、決意をもって更に 1 千万戸以上の各種バラック地区を改造する。これは都市内部の二元構造を解決するのみならず、都市化のハードルを引き下げるものである。

とりわけ重要なことは、**ニュータイプの都市化は農業の現代化と相互補完的でなければならず、耕地の警戒ラインをしっかり維持し、食糧の安全を保障し、農民の利益を保護しなければならない**。

都市化は複雑な系統プロセスであり、経済と社会に深刻な変化をもたらすので、**各種改革と併せて推進する必要がある**。推進プロセスにおいては、各種の問題に出くわすことになり、これを解決しなければならない。この両会[4]期間に、都市化に関する建議・提案が既に 500 件余りに及んだと聞いており、なお集計中である。我々はこれらを真剣に検討することにより、都市化を積極かつ穏当に前進させることができる。

Ⅱ.『フィナンシャル・タイムズ』への李克強総理寄稿（9 月 9 日）

9 月 9 日、李克強総理は英『フィナンシャル・タイムズ』に「中国は世界に持続的発展の知らせを伝達する」と題する一文を寄稿した。本稿では、外交部が 9 月 9 日に公表した中

3　これは省を越えず、近隣の都市で就業している農民をも含んだ数である。

4　全国政治協商会議と全人代。

国語版をもとに紹介することとする。

国際金融危機が爆発して 5 年後の今日、世界経済の成長が緩慢に回復するプロセスにおいて、新たな試練が各国の面前に出現している。

今週、大連で挙行される夏季ダボス・フォーラムは世界の注目を浴びている。人々はここで中国政府のシグナルを得ることができると期待しており、正に転換の要となる段階にある中国経済のパワーを感じている。

あるウオッチャーは、「中国経済の成長の鈍化傾向は、最終的に大幅な下降に至り、更には『ハードランディング』に至るのだろうか？中国の改革開放の道は、各種の複雑な社会の難題によって軌道をはずれてしまうのだろうか？」と問うている。

私の回答は、「**中国は経済の長期に健全な発展を維持し、中国は引き続き改革開放の道を歩む**」である。

中国の新期政府は今年 3 月就任の際から、**経済を引き続き発展させ、民生を不断に改善し、社会の公正を促進することを施政の目標とする**ことを、明確に提起している。

中国はすでにエネルギー多消費・高投入の旧いモデルを踏襲することは不可能であり、「安定成長、構造調整、改革促進」を統一的に企画しなければならない。

改革の深化はなおも持久的な動力である。我々はすでに更なる政府の簡素化・権限の開放、構造改革の推進を通じて、**混合所有制経済を発展**させている。

市場のできるものは市場に譲り、社会のできるものは社会に分譲し、政府は管理しなければならないものをしっかり管理する。

我々は、引き続き行政管理、財政・税制、金融、価格等の改革を推進する。

今年の夏季ダボス・フォーラムのテーマは「イノベーション」であり、私はこれは技術イノベーションを指すのみならず、**更に重要なことは制度のイノベーション**であり、「**改革すなわちイノベーション**」を堅持することであると了解している。

開放の加速は推進器である。我々は引き続きドーハ・ラウンドの協議プロセスを支持し、関係国とバイの FTA 締結を推進し、中国－アセアン FTA のグレードアップ版を作り上げ、外資による投資の公平と法制環境を不断に改善する。

我々は、開放拡大の新たな方法を積極的に模索し、**上海に自由貿易地域試験区を設立**する。これは重要な試みである。

内需拡大は主たる攻め口である。中国の一大優位性は、良い暮らしを追求し、そのために辛労を厭わない 13 億の人民と、巨大な国内市場を擁していることである。

我々は**国内消費需要の拡大**に努力しなければならない。これには、ブロードバンド・第4世代移動通信システム営業許可等の普及といった**情報産業の発展促進**が含まれる。

消費に注意を払うと同時に、我々は**合理的な程度の投資をも維持**しなければならない。重点は、**省エネ・環境保護産業、中西部鉄道プロジェクト、市政インフラ建設**等の発展加速である。

都市化は内需を長期に拡大するために、巨大な潜在力を提供する。将来十数年、中国は億を上回る人口が都市に融け込むことになる。これは極めて複雑な経済・社会の変化のプロセスであり、新たな協同発展の政策が必要となる。**多くの困難はあるが、これは我々が都市・農村格差を縮小するために必ず通らなければならない道である**。

サービス業は新たな支柱である。最大の雇用収納器として、サービス業は経済転換の圧力を緩和してくれる。政府は公共サービスの改善に力を入れる。今年我々は、多くの小型・零細企業（このうち大部分はサービス業）に対し、増値税・営業税を暫時課税免除とした。

中国政府は、経済運営の合理的区間の「上限」・「下限」を明確にし、過度な波動を防止することとした。

「下限」の明確化とは、**成長を安定させ、雇用を促進しなければならない**ということである。GDPは、以前の2桁成長から2011年の9.3%、2012年の7.7%に至っており、さらに今年の7.5%前後へと平穏に推移している。これは経済法則の赴くところであり、主動的なコントロールの結果でもある。

「上限」の明確化とは、今年のCPI**上昇率を**3.5**%前後とする**ことである。

これにより、経済運営を合理的区間に維持し、**金融リスクを確実に防止**すれば、市場と社会に安定した予想をもたらすことができる。

今年に入り、中国経済の運営は安定の中で前進をみており、上半期のGDPは前年同期比7.6%成長となっている。5**%の調査失業率**[5]と2.4%のインフレ率は、いずれも合理的でコントロール可能な範囲にある。

世界経済は、依然不確定要因が存在する。**一部の先進国についての量的緩和金融政策退出の予想は、先進国市場への大量の資金還流をもたらし、アジア地域の多くの国の株式市場・為替市場の大幅な変動を誘発した**。さらに、ウオッチャーはアジア金融危機の再発を心配している。

私は、アジア各国が過去の経験から教訓をくみ取り、リスク抵抗能力を大きく高め、為替レート形成メカニズムを更に柔軟化し、外貨準備の水準をあまねく引き上げ、チェンマ

5　都市登録失業率はここのところずっと4.1%であるので、これは新たな失業統計と思われる。

イ・イニシアチブのマルチ化と各種バイの通貨スワップの資金調達を手配していることは、複雑な局面への対応にとって更に好い条件を提供していると考えている。中国は、このことに自信をもっている。

中国はなお発展途上国であり、自分自身の多くの任務・試練を抱えている。中国の国力が上昇するにつれて、国際事務において自身の条件と一致した更に多くの責任・義務を引き受け、各国とともに世界の平和・発展の事業を協同促進する。

私は、世界経済がいつか困難の中に希望を見出し、再び繁栄することを期待している。中国経済のグレードアップ版も世界経済に新たな動力を提供することになろう。

III．夏季ダボス会議における李克強総理発言（9 月 11 日）

9 月 11 日、李克強総理は大連において夏季ダボス会議開幕式の挨拶を行った。本稿では、彼の発言の概要を紹介する（中国政府網 2013 年 9 月 11 日）。

2008 年 9 月から今に至るまで、国際金融危機が爆発してすでにまるまる 5 年となる。現在、世界形成情勢はなお錯綜し複雑である。先進国は好転の兆しが現れたばかりであり、新興経済国は再びかなり大きな下振れリスクに直面しており、一難去ってまた一難と言ってよい。

多重の要因の影響を受けて、中国経済の成長速度もある程度鈍化した。一時期以来、国際的に中国経済について少なからぬ議論があり、一部の国家がかつて遭遇した、成長の早過ぎる鈍化という問題が出現するかどうか、さらには「ハードランディング」が出現するかどうかが心配されている。

私は皆さんに、**中国は正に転換・グレードアップの要となる段階にあり、現在経済発展のファンダメンタルズは良好であり、経済運営は総体として平穏である**、と申し上げたい。

今年 1－3 月期、中国経済の成長率は昨年 10－12 月期の 7.9%から 7.7%に下落し、4－6 月期はさらに 7.5%に下降した。消費・投資及び対外貿易の伸びに下降傾向が現れ、中央財政収入は長年めったになかったマイナス成長が現れた。

下振れ圧力に対して、我々は安定の中で前進を求める政策の総基調を堅持し、一連の革新的な政策措置を採用した。安定成長・構造調整・改革促進を統一的に企画し、経済の平穏な運営を保証した。

（1）現在と長期を併せ考慮し、マクロ経済政策を安定させている

経済が下振れた際、短期的な刺激政策を用いて経済成長を推し上げることは、１つの方法といえる。しかし、我々は利害のバランスを量り、これは深層の問題の解決の助けには

ならないと考え、現在にもさらには長期にも利する戦略を選択することにより、マクロ経済政策の安定を維持した。

①財政政策

赤字を拡大しないことを堅持し、むしろ支出構造を調整して、行政支出を圧縮し、支出の進度を加速した。中西部地域、構造調整、民生保障への支援を増やし、小型・零細企業に税制優遇を実行した。

②金融政策

一定の程度を維持し、短期金融市場に短期的な波動が出現しても、我々は沈着に対応し、困難を恐れず、**金融を緩めることも引き締めることもせず、流動性をしっかり管理**し、ストックを十分活用しフローをうまく用いることを通じて、実体経済の発展を支援した。

③リスク管理

我々は監督管理の強化と規範的な発展を通じて、財政・金融分野の潜在リスクを積極的に防止・解消する。皆さんが関心を寄せている**地方政府の債務問題**に対して、我々は的確な措置を採用し、順序立てて規範化・解消しているところである。自信をもって言えるが、**総体としてコントロール可能**である。

（2）改革開放を断固として推進し、市場の活力を奮い立たせることに力を入れている

①改革

改革・イノベーションは、国家発展の尽きることのない動力である。

今期政府の最初の大仕事は、**政府機能の転換を核心**とし、行政管理体制改革を大いに推進することである。今年に入り、すでに 200 余りの行政審査・許認可事項を取消・委譲したが、その目的は**政府の簡素化・権限の開放を通じて、開放すべき権限を十分開放し、管理すべき事柄は十分しっかり管理し、各種企業のために公平な競争環境を作り上げ、市場主体の創造活力を奮い立たせる**ことにある。

我々は「営業税を増値税に改める」テストの範囲を拡大し、金利市場化プロセス、鉄道等の投融資体制、資源制産品の価格、政府による公共サービス購入等の分野の改革を積極的に推進する。

我々は経済構造改革推進を加速し、**混合所有制経済を発展**させ、金融・石油・電力・鉄道・電信・資源開発・公共事業・サービス業等の分野で市場参入を緩和し、民間投資の伸びを誘導し、各種所有制企業のために更に大きな発展の余地を提供する。

②開放

中国の現代化建設は改革に依拠しなければならないが、開放とも切り離せない。

我々は対外開放の新たな道を不断に模索し、上半期は欧州のスイス・アイスランドと FTA を締結した。最近はさらにアセアン指導者と中国－アセアン FTA のグレードアップ版を作り上げるべく協議している。

上海に建設する自由貿易試験区は、ネガティブチェックの管理モデルを模索するもので

あり、重点は投資の参入とサービス貿易分野の開放拡大である。我々は対外貿易の簡便化等の措置をさらに打ち出して、輸出の平穏な伸びを促進する。

（3）転換・グレードアップに着眼し、構造を調整・最適化している

中国経済はすでに転換・グレードアップしなければ持続的な発展ができない要となる段階に達した。

内需拡大は最大の構造調整であり、**都市・農村と地域の協調発展促進**を主要任務とし、**工業化・新しいタイプの都市化・情報化・農業の現代化を同歩調で推進**することを基本ルートとし、**サービス業の発展**を重要な戦略的支柱とするものである。

我々は新たな消費のホットスポットを積極的に育成し、「ブロードバンド中国」戦略実施を推進する。我々は脆弱部分の建設を強化し、省エネ・環境保護、バラック地区の改造、都市インフラ、中西部鉄道等の方面の投資を増やし、広域にわたり集中する特別困窮地区への支援を強化する。

我々は専門的な措置を打ち出し、養老・健康・文化・スポーツ等のサービス業の発展を促進する。イノベーション駆動による発展戦略の実施を加速し、技術イノベーションを大いに推進し、科学技術と経済の深い融合を促進し、イノベーション・起業に資する社会環境を作り上げる。

今年に入り、中国は安定成長・構造調整・改革促進を協調的に推進してきたが、これは主として**マクロ管理方式のイノベーション**に資するものであった。

我々は経済発展の潜在力と現状に基づき、経済運営の合理的区間を科学的に確定し、成長安定・雇用維持の「下限」を固守し、インフレ防止の「下限」をしっかり把握した。これは予想を調節する事前警戒ラインでもある。

同時に、**経済運営の合理的区間に適合したマクロ政策の枠組みを制定**した。経済運営が合理的区間にありさえすれば、経済の総量政策は基本的に安定を維持する。主線は経済発展方式の転換とし、注力点は経済構造の調整とし、カギとなる措置は依然として改革・イノベーションとする。内需の潜在力・イノベーションの動力・改革のボーナスを不断に発揮させ、市場の活力を奮い立たせ、成長の内生的パワーを形成し、中国経済のグレードアップ版を作り上げることに力を入れるのである。

これらの措置により、**中国経済の運営には安定化・好転の勢いが現れている**。7・8 月分の情況からすると、製造業 PMI、PPI、工業付加価値、輸出入、電力使用量、貨物輸送量等の主要指標はあまねく反転上昇している。実体経済は活気づき、都市就業は引き続き拡大し、物価総水準は安定を維持している。市場のコンフィデンスは増強され、社会の予想は好転している。

このような安定の中で前進をみる発展態勢により、**今年の経済社会発展の予期目標は必**

ず実現できると我々は確信している。同時に、現在の経済の反転上昇の基礎はなお堅固ではなく、不確定要因がなお多いことをも見て取らねばならない。我々は油断することなく、さらに困難を克服し試練に対応できるようしっかり準備しておかなければならない。

中国経済は 30 年余り続けて高成長し、世界発展史上の奇跡を創造した。**現在、中国経済はすでに中高速成長の段階に入っている**。7.5%前後の成長率は、過去の 2 桁近い成長と比べればやや遅いが、世界的に見れば依然として主要経済国では高速度である。

中国経済の総量は過去と比べ明らかに増大しており、現在すでに発展転換の段階に入っている。潜在成長率がある程度低下し、経済成長が高速から中高速に転換するのは、発展法則に符合するものである。

しかも、**将来中国経済の成長は、質と効率の向上を前提とし、資源節約と生態環境保護を支えとし、科学技術イノベーションと技術進歩を動力としなければならず、雇用の保障と個人所得の相応の増加を伴う成長でなければならない**。つまり、改革・発展の成果・恵みが最も広範な人民大衆に及ぶようにしなければならない。

未来を展望すると、中国の発展の前途は明るい。**我々は、経済の長期に持続的で健全な発展を維持する能力・条件を完全に備えている**。中国の工業化・都市化ははるか未完成であり、地域発展の挽回余地と市場の潜在力は巨大である。改革の大勢は逆転できず、改革推進は必ず新たな制度活力を放出する。中国人民が勤勉で知恵があり、休むことなく自らを鍛えていることは、最も重要な発展の支えである。

我々は引き続き経済を発展させ、民生を不断に改善し、社会の公正を促進し、断固として改革開放の道を歩み、中国の特色ある社会主義事業を不断に前へ推し進める。我々が長期目標を緩めないと決心し、眼前の問題解決を怠らないようにしさえすれば、中国という経済の巨船は必ず風波を乗り切り、帆を挙げて遠洋に漕ぎ出すことができる。中国経済は必ず長期に持続的で健全な発展を維持できる。